



2018.2.18 堅信式

【「父のところ行って言おう」「お父さん、わたしは天に対しても、またあなたに対しても罪を犯しました」】
デユマス・マーティン神父

降誕節が終わり年間に入り、今度は、2月14日から教会の大切な季節である四旬節が始まりました。毎年四旬節の務めを実践するたびに、地上で旅する聖なる教会は、私たちの救いのために受難を受け十字架に付けられ死んで復活したイエスと共に十字架の道を歩みながら神に立ち戻り心を尽くして歩むように導かれています。巻頭言のタイトルは新約聖書のルカによる福音書15・18の放蕩息子のお話からの言葉です。この息子は父の家から出ていきたくて強欲に欲に従い、父親から与えられたすべての遺産を無駄に使って、全てを使い果たし何もなくなつた時、「父のところ行って言おう」「お父さん、わたしは天に対しても、またあなたに対しても罪を犯しました」と宣言することで、父親を裏切つたことと、神から離れたことを反省し罪を犯したことに気がつき行動して告白したと聖書には書き記されています。この息子の行動は模範として学ぶことがあると思います。

人生における反省・神に対してと父親つまり「人間」に対して犯した罪に気がついたとき、それは恵みの時です。神や人との関わりに対する罪はたくさんあると思います。前向きな生活ばかりではありません。現代世界は神を恐れる意識が弱くなつてしまつたことは現実ではないでしょうか。洗礼を受けキリスト者と呼ばれている私たちは、その姿勢を育むことが一番重要だと思いません。どうでしょうか。

行動における実践…父親の助けを求めるときに一度はそのところから出て行つた父の家にも戻るようになりなりました。喜びの時に教会にたよってくるだけじゃなく、打ち砕かれた「悔い改める」心で神に立ち戻るならば、日々の生活を反省する意識をもって神に立ち戻る勇気を育むことも大切だと思います。(次ページに続く)

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

罪における告白…神や人に対

するあやまりは大切でしょう。許しの秘跡の力によって私たちも心が平和に満たされます。間違えなく度々クリスチャンと呼ばれている私たちも色々な時、神の教えから離れて強い欲望に負ける時もあると思います。

四旬節は教会の“恵みの期間”だという教えを知らせています。この季節に当たり神の慈しみと哀れみのやさしさを、神の家のすばらしさ、満ちあふれる恵みと喜びを味わおうとするならば、いつもミサの感謝の祭儀の前の、“思い行い怠りによつて度々罪を犯しました”と言う言葉を思い起こしながら父である神の家に立ち戻ることは当然だと思いません。信じる人々は、神の子と呼ばれる喜びを、いつも絶え間なく深めるように、日々罪を退け滅びの道から解放されるように、反省し神に立ち帰り、そして神の救いの力を捜し求めることで御父の家のすばらしさを味わうように導いてくださるのです。

堅信式感想文

パウロ 前田 彰三

私はこの度松浦悟郎司教様の按手により無事に堅信を受けることが出来ました。これは大きな喜びでございます。また、代父を神戸六郎様にお願ひできましたことは本当に感謝です。

四月よりデインド神父様の入門講座を受け聖書の世界のご教示として、自分の生涯を通して、より信仰の薫陶を受けることが出来ましたことは有難いことでございました。

この講座の中で数々の機会を通して信仰を深めることが出来、誠に有難く幸運な人生であると深く感謝しております。入門から堅信に至るまで教会に通ううちにご教示賜った御言葉の数々により、その深遠さを、しっかりと心に留め、これからの信仰生活に生かして参る所存でございます。ありがとうございます。

ヨセフ 瀬口 耕太郎

私は昨年の四月に洗礼を受け、今年になって無事に堅信式も終えることができました。それまで聖書を読んだこともなかった私がここまで辿り着き、教会の一員として信仰生活を歩むことができるよ

うになったのは、聖霊の導きであると確信しています。

復活した主が天に上り、その十日目に使徒たちにおきた聖霊降臨。その時と同じように聖霊が注がれたのは私にとって大きな喜びであり、そうして下さった主は私の誇りです。

洗礼の恵みが完成され、カづけられた今。私はキリストの弟子として、自分の生涯を通して、より堂々と信仰を証しするように生きていきたいと思っております。

他に堅信を受けたのは以下の方々

アイザック・ジョグズ 伊東優人

モーセ 榊原啓希

パウロ 池田健一郎

フランシスコ・ザビエル

バン・ヴ・ニヤット・カーン

マリア ヴ・ホアイ・チャン

マリア・ヘレナ 服部美智子

マリア・マグダレナ 國枝英子

アグネス 山脇元子

ユリアナ 木戸内 智美

マリア 伴野恵理子

ヨセフ 宮城吉演

マキシミアン・マリア・コルベ

田中直也

今日までお導き下さいました神父様、兄弟姉妹の皆様方に感謝します。どうぞよろしく願ひいたします。

おめでとございます。

認知症カフェのご案内

「認知症カフェ」とは、認知症の方々やそのご家族を地域全体で支えるために、イギリスやオランダで始まった、“認知症の方々の地域交流の場”です。地域の認知症の方々やそのご家族の方々と一緒にコーヒーでも飲みながら、みんなで「楽しいひと時」を過ごせればと思っております。



毎月第二水曜日 開催！

- 時間：13時30分～15時30分
※受付は13時から
- 場所：聖霊病院2階（聖霊ホール）
- 参加費：150円

開催予定日
3月14日（水）
4月11日（水）
5月 9日（水）
6月13日（水）

いりなか聖霊カフェは、どなたでも参加できる集いです。認知症について学んだり気になることを相談することもできます。地域の皆様との交流の場にしたいと思っております。参加、お待ちしております。

- 申込方法
事前に予約してください。（電話またはFAXにて）裏面の申込用紙をご利用ください。
電話：052-832-1181 企画広報室（内線7160）
FAX：052-837-0155（事務部直通）



典礼一口メモ 香部屋の窓から
第六回 聖週間の典礼の話

典礼委員長 新内飛鳥

今年の聖週間は3月の最後の週です。復活の聖なる徹夜祭を3月の末に祝い、復活の主日は4月という絶妙な日取りです。年度を過ぎ越すという感じですね。私たちは灰の水曜日をもって始まる四旬節を復活祭の準備の期間として慎み深く過ごせるように努めます。聖週間はカトリック教会の典礼の中でも非常に重要で大切にされています。私達の主イエズス・キリストの死と復活を記念していますから、教会の本質と原点の記念、私達の信仰の根本と呼んでも良いと思います。主の誕生を記念するクリスマスと合わせて二本柱と表現されることもありま

す。神学的な解説は専門書を読んで勉強してくださいね。ここでは、あくまで南山教会での典礼についてお伝えします。聖週間は「受難の主日」「枝の主日」から始まります。この日はイエズスと使徒たちのエルサレム入場を記念しています。シヌロ（日本の教会では蘇鉄を使うのが一般的）の枝を手に

「ナザレの王にホザナ」「天のいと高き所には神に栄光あれ」と口々にイエズス一行を歓迎した当時の民衆のように、「枝の行列」と呼ぶ儀式で私たちは救いの訪れを予感します。枝を手にした会衆の前に聖書が読まれ、灌水が施されます。ミサでは受難の朗読が読まれます。受難の朗読は、司式司祭、奉仕者、会衆が、それぞれに役割を分担して堂内にいる全員が参与して読まれます。受難の朗読はこの日す。受難の主日の典礼色は本来バラ色ですが赤色を使うのが一般的です。

教会はこの日をもって聖週間を迎えます。伝統的に、この週に教区内で働く司祭たちは司教のもとに集まりカテドラルで聖香油のミサを捧げます。名古屋教区では長い間聖木曜日に集まっていたましたが、遠い小教区で働く司祭や信徒への配慮も鑑みて水曜日に集まるようになりました。荘厳に捧げられるミサの中で司祭たちは叙階の日に受けた恵と決意を思い起こし、またこのミサの中で祝福される聖なる油「聖香油」「洗礼志願者の油」「病者の油」を司祭たちはそれぞれの小教区に持ち帰り、役務の中で使います。



木曜日から聖なる過ぎ越しの三日間が始まります。聖木曜日には「主の晩餐のミサ」を祝います。このミサではイエズス・キリストが使徒たちと共に囲んだ最後の食事、すなわちミサの制定と呼ばれる出来事、ミサそのものを記念しています。また弟子たちにそうしたようにイエズスの代理者である司祭は侍者たちの足を洗います。洗足式と呼ばれる記念の儀式で侍者に限らず信徒の誰かの足を洗う事が勧められています。



また、このミサの栄光の賛歌をもってオルガンを始めとした教会の一切の鳴り物は音を消します。そのこともあり、この日の栄光の賛歌では歌に合わせて侍者はカンパ、ヌラを鳴らします。また、普段のミサより多い数のパンを奉納し聖変化がなされません。聖体拝領を終えると普段のミサであれば聖櫃に収められるご聖体が特別に用意された仮の安置所に運ばれます。ペールムを纏った司祭により荘厳な聖体行列を以て運ばれます。聖

体を送り出し空になった聖櫃はキリストの墓とも呼ばれます。尊い主の身体の安置されていない聖堂では祭壇から二枚の祭壇布が剥がされ、内陣にある全ての道具が取り去られます。これはキリストの死を表しています。祭壇が丸裸になり内陣からすべての道具が取り去られ聖体の現存を示す灯りが消されま



一夜明けた聖金曜日には主の受難の典礼が行われます。この日は世界中のどこでもミサを捧げません。日没前に（南山教会では午後三時）に十字架の道行の祈りを捧げます。イエズス様の受難の道のりを辿ります。また、この日は大斎小斎と定められています。断食のことです。大斎は「一日に一回十分な食事を摂り、あとの二食は少ない量を抑えること」を言います。小

斎は「肉類を控えること」を言います。言わずもがなですが、これは肉さえ食べなければいいということではなく、滋養のあたる贅沢なものと解釈するのが妥当です。なので日本人の感覚で言えば肉を食べなければ寿司を食べればいいのかというところ「そうじゃない」ことはわかりますよね。前夜と同様、信者は夜に教会に集まります。この日の典礼は、受難の朗読から始まり、盛式共同祈願、十字架の崇敬、安置所からの聖体行列、聖体拝領、安置所への聖体行列という構成です。前夜同様、安置所への聖体訪問が勧められます。



められます。私たちは静寂と漆黒の闇に包まれています。復活の大ろうそくを祝福した後、屋外に準備した種火で点火します。司祭（いるならば助祭）による先唱句「キリストの光」に私達が「神に感謝」と三度、応唱しながら私たちは堂内に行列します。二度目の交唱に続き、侍者は大ろうそくから取った火を信者（その日、受洗する求道者もいる場合が多い）が手にしている手持ちのろうそくに火を分けま



聖なる過ぎ越しのクライマックスと言える復活の聖なる徹夜祭は、光の祭儀を以て厳かに始

復活讃歌を歌い終わると言葉の祭儀が始まります。本来七箇所が読まれ答唱詩編を歌い祈願をしますが、南山教会では時間的疲労に配慮し三箇所を読み、

詩篇を歌い、祈願します。旧約聖書を読み終えると栄光の賛歌を歌います。この時から私たちは音を取り戻します。すなわちオルガンが荘厳に鳴り響き侍者はカンパヌラを以て讃歌を飾ります。大きな喜びの内に内陣の全てのろうそくに火が灯され堂内は一気に光も取り戻します。こうして旧約の時代から新約の時代に過ぎ越しの事を記念します。盛大にアレルヤ唱を歌います。説教に続き福音書が読まれます。説教に続き洗礼の秘跡が執行されます。このミサで聖別された聖水を使い洗礼が授けられます。この日に灯された復活のろうそくから誓願のろうそくに火が分けられます。白衣をまとい洗礼名を授けられます。このようにして私たちは新しい家族を得ます。

裏話というところでもありませんが、過ぎ越しの三日間は侍者たちも普段とは全然違うことをしますから早い時間（十七時）に集合します。約一時間かけて練習をして十九時の儀式に臨むのです。

司祭団より

3月4日

年度の切り替えに伴い、役員の方々はお疲れ様でした。新しく担当頂く方々には、どうぞよろしくお願ひいたします。

楊神父様が4月より山形の教会へ異動となり、モルク神父様が4月から南山教会に赴任されます。

シューベルト神父様とデインド

神父様について、神言会の方針で来年度から協力司祭という呼称がなくなりですが、今後も教会の司牧に協力していただく予定です。

報告・連絡事項

2月18日、堅信式と祝賀会

松浦司教様の司式にて、15名の方が、堅信の秘跡を受けられました。今回の堅信式は、松浦司教様方式で行われました。祝賀会パーティーは、中高生保護者会が中心となり、楽しく行われました。

パーティーについては持ち込みを頂いた方もいらっしゃり、ご協力いただく方も多数でとてもあり

がたく、感謝致します。

堅信式の中で、信者に問う後に志願者に確認する形を今後も大切にしていきたいと思ひます。

来年も、同時期に松浦司教様にお願いしています。

2月25日、洗礼志願式

9時30分のごミサの中で、4名の方が洗礼志願式に臨まれました。

2月25日、パイプオルガンに触れる会

11時～11時45分に教会学校の子供達と保護者の方を対象に「パイプオルガンに触れる会」を開催しました。15名程の参加で、パイプ室の見学や色々なパイプの音色を聞き比べ、ひとりひとりがパイ

ポオルガンを弾いたり、パイプオルガンの伴奏でみんなで歌ったりと楽しい時間が過ごせました。

2月25日、教区社会委員会

40～50名が参加されており、それぞれの教会で実施されている活動の報告がありました。

①3月11日に布池教会にて13時30分より宗派を超えた復興祈願の

日があります

②8月に平和旬間を昨年と同様の内容で開催を予定しています。

③11月23日と24日に正義と平和の40回記念大会が教区の色々な教会で開催されます。

上記②と③について、18年度について引き続き検討していきます。

3月2日、世界祈祷日

2018年世界祈祷日礼拝が在日大韓基督教教会名古屋教会にて行われました。

テーマ「スリナムからのメッセージ」すべての神の造られたものはとてもよい」

186名が参加し、カトリック名古屋教区より58名参加。その内南山教会より12名参加。

4月1日、ご復活の玉子について

今年は玉子を500個準備し、マリア会で400個、教会学校で100個担当頂きます。

2月11、12日、ネットワークミーティングイン北陸への参加報告

司教様からの要請で、一般会委員の「信者全員参加型」への移行への取り組みです。

まだ、教区から具体的な方法はいただいておりますが、教区ニュースに取り組みが掲載されています。4月以降に確定事項について引き続き検討していきます。

年次報告

来年度の信徒集会用いる年次報告を3月31日までに事務所へ提出ください。

2018年度の南山教会の予定

2017年度の予定表に次年度の予定を書き込んで、事務所へ提出してください。

5月13日に教会美化とBBQを開催致します。

次期各委員のメンバー確認を行いました。

枝の主日、聖木、聖金、復活徹夜祭、復活祭への確認

枝の準備には費用が発生します。が枝のサイズと共に費用も検討していきます。

は持ち寄りをお願いいたします。詳細は、マリア会、ヨセフ会で調整をお願いいたします。

3月17日、18日 四旬節黙想会

管区長のジェブーラ師の指導の黙想会がありますので、皆さん参加いたしましょう。

3月18日、城東ブロック定例会

恵方町教会にて開催されます。

教区情報

2月4日第4回宣司評議事録を中心に宣教司牧評議会規約改正等が記載されており、運営委員会にて説明されました。

信条の新しい旋律導入について

12月から9時30分開祭のごミサで使徒信条(2)の新しい旋律が導入されていますが、今後は17時、8時、18時開祭ミサでも導入を進めていきます。(4月7日、8日神のいつくしみの主日からの予定)

その他

①営繕委員会からの報告

ヨセフ館横の御影石ベンチすべてを一時的に撤去します。

一時撤去したものはマリア館横のスペースに仮置きし、基礎は撤

去します。

御影石ベンチは、大規模補修時に再利用したいと考えています。

大規模補修説明会が4月、5月、6月に1回ずつ開催され、大

聖堂天井、信徒会館、鐘楼などそれ以外の案件について説明やご意見お伺いがされる予定です。

審議・相談事項

2018-19年度運営委員長選出

運営委員会にて次期委員長が確定し、承認されました。泉さんが引き受けてくださいます。

予算と大規模修繕基金

現在乗っているセレナの車検が切れることに伴い、同じタイプの7人乗りをリースすることになりました。環境を考えハイブリッドとし、毎月¥46,000程の支払いととなり、5年契約となります。大規模修繕基金預金状況について、毎月月報に載せていきます。

青少年司牧部の春休み行事ご案内

教区青少年司牧部よりのお知らせです。参加費用を教会から捻出

することで確認がとれました。参加後に月報に載せるための報

告を頂きたいと思えます。

本告さんの奥様の刺繍等の遺品に方が志願されました

3月3日 名古屋教区典礼研修

関するお願いと相談
本件、ご復活のパーティーに
大て、皆様に提供することにしたい
と考えています。いただきました
浄財は、大規模修繕の一部にさせていただきます
ていただきたいと考えております。
す。よろしくご協力をお願いいた

列 9時30分ミサ前

28日 聖香油ミサ・カテド

ラルにて
作品の点数は、15点ほどで、3月
20日過ぎにご自宅へいただきに行
く予定です。

その他

①外国のボーイスカウト契約更
新について
18年度もカトリック会館の使用
祭 19時大聖堂

4月1日 復活の主日

※3月を使い、香部屋保管の侍
者服を有志の方の奉仕で洗濯して
いきます。

②典礼委員会

2月11日・先唱、朗読者とオル

ガニストの集いを開催・定例会議

14日 灰の水曜日・7時小
聖堂、19時大聖堂にてミサ

18日 堅信式 15名の方が

参加後に月報に載せるための報

25日 洗礼志願式に4名の

方が志願されました

3月3日 名古屋教区典礼研修

11日 定例会議
17日 黙想会、共同回心式
18日 〃、〃

25日 受難の主日・枝の行

29日 聖木曜日・主の晩餐

30日 聖金曜日・主の受難
のミサ 19時大聖堂

31日 聖土曜日・復活徹夜

19時大聖堂

4月1日 復活の主日

※3月を使い、香部屋保管の侍
者服を有志の方の奉仕で洗濯して
いきます。

2月11日・先唱、朗読者とオル

ガニストの集いを開催・定例会議

14日 灰の水曜日・7時小
聖堂、19時大聖堂にてミサ

18日 堅信式 15名の方が

参加後に月報に載せるための報

南山句会

平成三十年二月十八日



塀を越え通りに顔出す寒椿
童等が去りベンチに手ぶくろ冬の夕

泰信

賑やかに子らの五七五二月尺
うららなる膝に安らぐ老の猫

美智子

今年また描き初めは朽ちた龍
祈り終え家路を急ぐ雪の朝

惇子

ふるき雛想ひ出深くお飾りす

静子

巡礼はイスラエルと聞く梅二月
葬列へ聖歌のやさし粉雪舞ふ

せつ子

節分会拾ひし豆は袋入り
たらの芽の天ぶらなりシタの膳

眞喜子

寒椿垣の向ふに子等の声
手をつなぎ急ぐ親子へ虎栗笛

とく子

尾を振って返事する猫春炬燵
縁日の値引交渉山笑ふ

豊子

寒明けや木の先灰か明るんで
こんこんと降る雪国の疲れ濃く

令子

毎月第三日曜日九時半ミサ後
マリア館一階集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

エリザベト 山田 和子 (膳棚教会)
ヨハンナ 原 三枝 (名東教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

2/8 ローマのフランシスカ 木村 順子 (84歳)
2/14 ベロニカ 安達 道子 (89歳)
2/25 ミカエル 東納 盛英 (90歳)

教会維持費

2月は1,157,917円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

大規模修繕積立金

2018年2月末
現在

1,884,110円

2018年3月・4月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
3月	聖ヨセフの月 19(月)聖ヨセフ 29(木)聖木曜日(主の晩餐) 30(金)聖金曜日(主の受難・大齋・小齋) 31(土)聖土曜日	17(土)18(日) 四旬節の黙想会・共同回心式 31(土)19:00 復活の徹夜祭・洗礼式	4(日)11:00 運営委員会 9(金)マリア会例会(懇談会) 11(日)ヨセフ会班長会 11(日)教会学校・中高生会卒業式 11(日)典礼委員会 17(土)10:30 子ども部屋 24(土)要約筆記付きミサ	2(金)世界祈祷日 17(土)助祭叙階式(神言会) 11(日)東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願の日 18(日)城東ブロック会議(恵方町) 21(月)司教座聖堂献堂記念日、司祭・修道者金銀祝の祝い 28(水)聖香油ミサ
4月	1(日)復活の主日 8(日)神のいつくしみの主日 9(月)神のお告げ	1(日)日英合同ミサ(9:30)復活祭パーティ	6(金)マリア会例会(懇談会) 8(日)11:00 運営委員会 8(日)教会学校中高生会始業式 15(日)典礼委員会 17(日)ヨセフ会班長会 21(土)10:30子ども部屋 28(土)要約筆記付きミサ	22(日)召命祈願日 29(日)信徒協総会